

【 大阪府立堺西高等学校 学校協議会の開催記録 】

○ 第 1 回 ○

開催日時	平成 23 年 10 月 14 日(月) 15:00～17:15	開催場所	校長室
出席者	(委員)山本美也子、西尾重晴、出口好信、中島智子、安原佳子、竹内啓三		
	(事務局)校長、教頭、事務長、首席 2 名、教務部長、生活指導部長、進路指導部長 生徒会部長、図書情報部長、保健福祉部長、教諭 1 名		
報告事項	<p>➤午後 2 時 1 5 分～午後 2 時 5 0 分 協議会に先立ち、授業見学（保健、英語、地学）と学校施設見学を実施。</p> <p>➤午後 3 時～午後 5 時 1 5 分 協議会開始。</p> <p>○学校長挨拶</p> <p>○協議会委員及び事務局関係者、参加教員自己紹介</p> <p>○平成 23 年度 協議会会長選出 山本理事長 学校協議会の意義 学校の応援団、現場教員の意識改革</p> <p><議題> (本校について、現在の課題、要望なども含め、質疑応答、発言など) 「今後の堺西高校について」</p> <p>司会進行：山本会長、記録：本校 大塚教諭</p> <p><教頭></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校概要説明 <p><教務部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間割編成については、時間割を組むのが難しくなっている。 ・類型・コース選択は、現在、来年度のコース選択調査中。生徒が主体的に選択できていない。コースの変更が途中でできないため、選択を迷っている。1 年生の早い段階で説明が必要。理型選択者は多いが、数学の力が低いため、3 年時に文型に行く必要がある生徒がいる。専門コースでの学習を活かした、進路指導の必要性を感じている。 ・定期考査は、平均点は 6 0 点程度。試験直前だけの学習が目立つ。しかし、定着していない。次の学習に生かされていないように感じる。 ・すべての教科で国語力の低下が感じられる。数学や理科の教員からも国語力の低下の指摘がある。教科を越えて取り組む必要がある。 <p><進路指導部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の進路状況はこれまでと特に大きな変化はない。その他に含まれる生徒の中では、アルバイト先から正社員になるケースが多い。 ・本年度の取組みとしては、大阪府の「実践的キャリア教育・職業教育」支援事業に応募・受諾される。これにより、就職支援コーディネーターの派遣を受ける。就職内定率も上 		

昇している。進路に関する講演会の実施等の補助を受けられるようになった。

- ・1年生は外部機関の実力テストを実施。
- ・昨年度の内定率が低かったため、今年度は就職者講習会に力を入れている。
- ・看護系の外部模試を実施。
- ・民間企業人によるキャリアガイダンス（パナソニック、ミズノ、読売新聞、竹宝幼稚園など）
- ・センター試験出願者は今年度11名、昨年度は20名程度
- ・生徒の近場志向や進路を早く決定したい思いが強い。自分の実力に合う大学でなく、入りたい大学、学びたい大学に向けての努力をさせる指導が課題。

<生徒指導部>

- ・遅刻回数は昨年程度。遅刻の数は府立学校の中では少ない。SHRの遅刻をカウントしていない。遅刻の一本化が課題である。
- ・頭髪・服装指導は厳しいと言われるが、見ていない場所でだらしない格好の生徒も多い。
- ・携帯電話は、校内では電源を切って鞆に入れる指導を行っている。
- ・交通安全教育は、自転車のマナーが悪く近隣にも迷惑をかけている。
素直な生徒が多く、指導されるとその場では改善されるが、継続していない。

<生徒会部>

- ・クラブ活動・学校行事を通じて生徒の自立やクラスの団結などを図っている。
- ・今年度、韓国城西（ソンソ）高校との交流はなかった。来年度は城西高校との国際交流を視野に入れて取り組んでいきたい。
- ・クラブ活動加入率が年々上昇している。

<図書情報部>

- ・公式ホームページの作成。クラブのページは生徒自身が作成している。アクセス数も増加している。
- ・PTAの活動は、活発に行われている。PTA新聞の発行。
- ・国語力の向上のため、読書の重要性を感じる。1年生のHRで一斉読書を行った。国語科との連携で読書感想文コンクールの実施。大阪府の平均は1,800冊、昨年3,200冊であり、増加傾向にある。図書館を使った授業も増えている（芸術、保健、国語など）。授業利用も1.5倍くらいになっている。保護者に向けた貸し出しもしている。
- ・図書館を1日中開けておくために教員の常駐をしている。

<保健福祉部>

- ・保健室の来室者は年々増えている。要因の一つとして、養護教諭が2人体制になっていることがある。
- ・部活動中の怪我也多い。怪我を防ぐための指導が必要。

<委員からのご意見> 敬称略

(中島)

- ・良いところは変えないで、新しいことに取り組む姿勢を感じる。順調に進んでいる。初めて授業を見たが、生徒さんの素直で率直な対応が大変すがすがしかった。絵や書の作品が廊下にたくさん飾られていて、専門コースの取組みの今後に期待を抱かされる。
- ・学習面での課題は、全国的な課題であり、大学でも同じである。共通課題。近隣と協力しながら育てていきたい。

(安原)

- ・学校紹介については、映像で5分程度のDVD等を作成するのがよいのではないかと質問)生活指導部の懲戒について。退学はないのか?
→退学者はほとんどいない。朝のSHRで生徒の顔を見ることによって、生徒との距離が近くなる。
- ・進路指導においては、1・2年からの進路ガイダンスがいい。早い段階からの積み上げが必要。大学でも同じ課題がある。
- ・国語力については、大学でも文章が書けない。段落や主語・述語がない。携帯の文章のよう。本が好きな高校生をたくさん育ててほしい。

(竹内)

- ・各分掌での取組みは頑張っている。あえていうと、学校として1つになっていないと感じる。全職員・全分掌での共通の認識がないように感じた。1年から3年までの見通しを組織的・チームワークを持って取り組んだほうがより成果が上がるのではないかと。
- ・進路について生徒の希望はどうなっているのか。生徒の進路ニーズに応えるための学力をつけていくことも必要。まだ生徒の伸びしろはあるのではないかと。関大に入る力を持っているので伸ばす取組みをしてはどうか。
- ・学力保障、授業力の向上など、さらにきめ細かく対応することが望まれる。大学進学に向けたしっかりとした、組織的な取組みを進めればもっと合格者は増える。

(西尾)

- ・朝の登下校をみていると素直・まじめな生徒が多い。自転車のマナーの悪さは感じない。他校で車との接触事故があるので注意が必要。並走が危ない。
- ・幼小中高一体となった交流が盛んになっている。中学校の様子もよくなっている。
- ・防災については、非常時には高校生の力の必要になっているので、防災訓練などにも参加してほしい。
- ・高齢化により子どもの数が減っている。町内会の体育祭も内容が変わってきている。高校生が参加してくれると助かるし、盛り上がる。

ハイスタについての意見

*ハイレベルスタディ(ハイスタ)と称し、大学進学をめざす生徒のための講習会で、放課後や土曜日などを活用して実施している。

- ・ハイスタの取組みはいいと思う。どんな形で生徒にやる気をおこさせるのか。そこがうまくいけば、どんな生徒でも意欲がわいてくる。自主的に勉強するようになる。分かった、出来

たという気持ちがあれば自主的に活動するし伸びるのではないか。

- ・ぜひ、ハイスタを学校組織として取り組んでほしい。せっかく芽がでているので頑張ってほしい。
- ・自習の部屋が学校の中にあればいいのか。学習集団を自ら作る。教員主体のものと、生徒主体のものがあればいいと思う。生徒は勉強の仕方を知らないので先輩の経験談を聞けたらいいのではないか。生徒同士や先輩などには先生に聞けないような初歩的なことも聞ける。生徒の横のつながり、縦のつながりがあればいいのではないか。
- ・目標・モデルが必要。モデルを具体的に見せる。クラブの試合と同じで、ハイスタでは外部の模試などをたくさん受けてみてはどうか。

(山本議長)

○まとめとして

- ・次回の協議会では授業評価アンケートの結果を見たい。西校は変わってきている。
- ・城西高校との国際交流は進めてほしい。そのための支援はNPOとしても検討できる。
- ・近隣の小中学校、連合自治会との地域連携が成功しているのは、西高の良き特徴である。
- ・保護者も学校の一体感がないことを感じている。校長先生をトップにした学校運営は自然である。保護者の関心は、「生徒にいい影響を与えているか否か」に尽きる。いい影響を及ぼすためには、校長先生のリーダーシップのもとに一体となって取り組むことが大事。

➤校長謝辞

- ・本日は、本校がはじめての委員もおられ、広いテーマでの協議をいただき感謝。
- ・委員からのご指摘の「学校が一体となつての取組みを」については、しっかり取り組む。
- ・城西高校との国際交流は、来年度夏の実施も検討課題となる。NPOの支援は心強い。
- ・また、本日いただいた宿題、授業アンケートや学校教育自己診断の実施と、昨年度の授業アンケート結果の提示などについては、次回の協議会でご報告する。

(記録：大塚)

